学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次
	情報工学と情報科学の基礎を学ぶ	計算機工学／メディア工学／情報数理	計算機アーキテクチャ／知識情報処理／応用数理 計算機ソフトウェア／画像工学／制御システム	卒業研究
	情報科学の基礎を修得 1年次での基礎科目で数学や自然科学を学ぶとともに、情報科学科共通科目で情報科学の基礎技術を身につけます。	**基礎技術と専門性を修得** 2年次以降では分野ごとに系統的に配置された専門科目群で専門性を磨きます。	**さらなる専門性の向上** 専門領域では、事例研究を行いながら段階的に専門性を高め、卒業研究へ向けた取り組みを行います。	**個々の進路に応じた研究** 個々の目標・進路に応じて、集大成としての卒業研究に取り組みます。

情報工学基盤科目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	数学演習（1a） 数学演習（1b） 微分積分学（1a）※MS 微分積分学（1b）※MS 線形代数学（1a）※MS 線形代数学（1b）※MS 基礎確率統計※MS 物理学（1）● 物理学（1）演習 物理学実験（a） 物理学実験（b） 化学（1） 生物学（1） 生物学実験（a） 生物学実験（b） 地学（1） 地学実験（a） 地学実験（b） 情報リテラシー コンピュータ概論 SD PBL（1）	数学演習（2a） 数学演習（2b） 微分積分学（2a）※MS 微分積分学（2b）※MS 線形代数学（2a）※MS 線形代数学（2b）※MS 物理学（2） 化学（2） 化学実験 生物学（2） 地学（2） 数値解析	微分方程式論 ベクトル解析学 代数学 技術者倫理 SD PBL（2）	フーリエ解析学 キャリアデザイン	情報社会と職業（a） 情報社会と職業（b） 専門キャリアデザイン	情報と特許 SD PBL（3）		

PICKUP　プログラミング(1)(2)(3)(4)

まず計算機プログラムの基礎を学び、次いでPADを用いた演習でアルゴリズムの基本的な考え方を理解し、さらにC言語による実践的なプログラミング技術を修得します。

【学年配当しない科目】インターンシップ（1）／インターンシップ（2）／インターンシップ（3）／インターンシップ（4）／海外体験実習（1）／海外体験実習（2）／海外体験実習（3）／海外体験実習（4）／特別講義（IT-1）／特別講義（IT-2）

専門科目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学科共通	PICKUP プログラミング（1） プログラミング（2）	プログラミング（3） プログラミング（4） 離散数学	基礎論理回路 コンピュータシステム アルゴリズムとデータ構造 デジタル信号処理 情報理論	情報科学実験（a） 情報科学実験（b） オペレーティングシステム ソフトウェア工学	PICKUP 情報科学演習	情報セキュリティ 英語論文読解●		
計算機工学			ハードウェア記述言語 オブジェクト指向プログラミング(1) オブジェクト指向プログラミング(2)	コンピュータアーキテクチャ コンピュータネットワーク	組込みシステム プログラミング言語処理	並列分散処理		
メディア工学			データベースシステム	パターン認識※DS 音声情報処理	画像処理 インタラクティブ・メディア	コンピュータグラフィックス 自然言語処理		
情報数理			情報数学	システム解析 符号理論	古典制御理論 人工知能※DS	現代制御理論 計算論		
卒業研究関連						事例研究	卒業研究（1）	卒業研究（2）

【学年配当しない科目】特別講義（CS-1）／特別講義（CS-2）／特別講義（CS-3）

PICKUP　情報科学演習

「計算機工学」「メディア工学」「情報数理」の専門的な3分野においてPBL学習を実施し、各課題について調査・討論・考察・実験を行うことで、問題解決能力を身につけます。

※上記の他、教養科目、語学科目などの学部・学科共通科目を設置しています。詳細はP033をご覧ください。
※上記は一般コースのカリキュラムです。
※国際コースは独自の"学びのステップ"を設定しています。国際コースにつきましてはP105をご覧ください。
※MSは数理科学分野　※DSはデータサイエンス分野
■字は選択科目　■字は必修科目　■字は選択必修科目
●国際コースで必修科目となります。

カリキュラムは2023年4月現在のもので、一部変更される場合があります。